

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユビキタス

コード番号 3858 URL <http://www.ubiquitous.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐野 勝大

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 森 正章

TEL 03-5908-3451

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	314	△26.6	△193	—	△191	—	△190	—
26年3月期第2四半期	428	8.6	△199	—	△198	—	△204	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△21.31	—
26年3月期第2四半期	△23.14	—

(注)平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式数1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,638	1,538	92.4
26年3月期	1,815	1,705	92.5

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 1,514百万円 26年3月期 1,679百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	800	4.6	△350	—	△350	—	△353	—	△39.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	8,965,000 株	26年3月期	8,942,900 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	— 株	26年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	8,950,798 株	26年3月期2Q	8,840,379 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式数1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。上記株式数については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P3「1.(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)	8
(金融商品関係)	8
(有価証券関係)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における売上高合計は314,732千円、平成26年5月14日発表の通期業績予想に対し39.3%の達成率となりました。形態別の内訳では、ソフトウェア使用許諾売上高221,924千円、サポート売上高19,866千円、ソフトウェア受託開発売上高70,100千円、製品売上高832千円及びその他の売上高2,009千円となりました。

セグメント及び分野別の売上内訳及び事業状況は、以下のとおりです。

セグメント	分野	当第2四半期累計期間		前第2四半期累計期間		増減率 (%)
		売上高 (千円)	売上割合 (%)	売上高 (千円)	売上割合 (%)	
組込みソフトウェア事業	ネットワーク関連	150,844	47.9	191,824	44.7	△21.4
	データベース関連	94,096	29.9	57,551	13.4	63.5
	高速起動関連	40,434	12.8	52,827	12.3	△23.5
	小計	285,376	90.7	302,204	70.4	△5.6
サービス事業	サービスプラットフォーム関連	29,356	9.3	126,770	29.6	△76.8
合計		314,732	100.0	428,974	100.0	△26.6

## ■組込みソフトウェア事業

組込みソフトウェア事業の売上高は、前年同四半期比5.6%減となりました。データベース関連では主に第1四半期累計期間において複数の大口顧客からのロイヤルティ収益を獲得いたしました。ネットワーク関連及び高速起動関連においては、注力分野での案件獲得は活発化傾向にあるものの、新規案件の獲得状況が当初の見込みを下回ったため、組込みソフトウェア事業全体の売上高は、当第2四半期累計期間に対する当初見込額をやや下回る結果となりました。

ネットワーク関連は、HEMS(Home Energy Management System:電力の見える化や制御を含む宅内の電力管理システム)、スマート家電向け、無線通信機器向けソフトウェア関連の案件などを中心に、「Ubiquitous Network Framework」、「Ubiquitous ECHONET Lite」、「Ubiquitous DLNA/DTCP-IP」等による新規顧客及び既存顧客からの契約時一時金、ロイヤルティ等の収益を計上いたしました。また、車載分野においても「Ubiquitous Miracast Solution」、車載ネットワークセキュリティなどの案件開発が完了し、一部収益を計上しております。

平成26年7月にはHEMS機器やスマートメーター向けのソリューションとして、これらの通信に用いられる国際無線通信規格「Wi-SUN®(ワイサン: Wireless Smart Utility Network)」の標準プロトコルに対応した通信用プロトコルスタック「Ubiquitous Wi-SMART(ワイスマート)」の発売開始を発表いたしました。

データベース関連は、主に第1四半期累計期間においてカーオーディオ、OA機器、産業機器等の既存顧客からのロイヤルティ等を中心に収益を計上し、当第2四半期累計期間の目標額を上回る結果となりました。

高速起動関連は、既存顧客からのロイヤルティ等を中心に収益を計上いたしました。引き続きカーナビゲーションシステム、ディスプレイオーディオなど車載向けの端末において、複数社との間で大・中規模案件の研究開発及び商品化に向けた新規案件の受注も含めた実装を継続しております。

平成26年9月にはミラクル・リナックス株式会社と、自動車メーカーや車載機器メーカーを対象に車載機器やIVI(In-Vehicle Infotainment:自動車に「インフォメーション(情報)」と「エンターテインメント(娯楽)」の機能を幅広く提供するもの)向けのソフトウェア販売から技術サポートまでワンストップで提供することを目的に開発、販売に関する業務提携に合意したことを発表いたしました。「Ubiquitous QuickBoot」をはじめとした当社のソフトウェア製品とミラクル・リナックス株式会社のLinux OS製品とを統合した車載機器向け統合ソリューションの開発、販売を進めております。

## ■サービス事業

IoT(Internet of Things:モノのインターネット。従来、主にパソコンやサーバー、プリンタ等のIT関連機器が接続されていたインターネットにそれ以外の様々な“モノ”を接続する技術)を実現するプラットフォーム「dalchymia(ダルキュミア)」を用いた実証実験に関する受託開発案件及び、電力見える化クラウドサービス「Navi-Ene」に関する受託開発案件等により、当第2四半期累計期間において一定の収益を計上いたしました。

営業費用面では、役員及び従業員等の人件費として254,630千円(前年同四半期比9.0%減)及び、経費として338,860千円(同33.6%減)を計上しました。なお、これらの人件費及び経費のうち研究開発費は66,732千円(同24.8%減)です。

以上の結果、営業損失193,148千円(前年同四半期営業損失199,503千円)、経常損失191,706千円(同経常損失198,429千円)、四半期純損失190,823千円(同四半期純損失204,647千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より177,165千円減少して1,638,130千円となりました。流動資産は、売掛金及び有価証券の増加等により、前事業年度末より173,875千円増加して1,395,022千円となりました。固定資産は、長期預金の減少等により351,041千円減少して243,107千円となりました。

一方、負債は、前事業年度末より10,122千円減少して99,825千円となりました。流動負債は、買掛金及び未払金の減少等により前事業年度末より9,396千円減少して65,252千円となり、固定負債は34,573千円となりました。

資本金及び資本剰余金は、新株予約権の行使により前事業年度末からそれぞれ7,649千円増加して資本金617,488千円、資本剰余金587,488千円となり、利益剰余金は、四半期純損失190,823千円の計上により292,166千円となりました。以上により、純資産は前事業年度末より167,043千円減少して1,538,305千円となり、自己資本比率は、前事業年度末の92.5%から92.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において平成26年5月14日発表の通期業績予想を見直すべき要素はなく、同予想を据え置くこととします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	837,986	664,836
売掛金	138,906	177,619
有価証券	200,000	499,911
商品及び製品	9,836	9,460
仕掛品	6,270	7,158
前払費用	15,255	17,157
その他	12,891	18,877
流動資産合計	1,221,147	1,395,022
固定資産		
無形固定資産		
ソフトウェア	167,547	98,611
ソフトウェア仮勘定	—	1,210
無形固定資産合計	167,547	99,822
投資その他の資産		
投資有価証券	79,570	96,253
長期預金	300,000	—
差入保証金	47,031	47,031
投資その他の資産合計	426,602	143,285
固定資産合計	594,149	243,107
資産合計	1,815,296	1,638,130

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	21,845	11,561
未払金	29,308	13,795
未払費用	6,401	7,328
未払法人税等	2,402	2,359
未払消費税等	—	8,600
前受金	10,417	17,495
預り金	4,274	4,112
流動負債合計	74,649	65,252
固定負債		
繰延税金負債	10,340	9,528
資産除去債務	24,958	25,044
固定負債合計	35,298	34,573
負債合計	109,947	99,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	609,839	617,488
資本剰余金	579,839	587,488
利益剰余金	482,989	292,166
株主資本合計	1,672,667	1,497,143
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,469	17,206
評価・換算差額等合計	6,469	17,206
新株予約権	26,211	23,954
純資産合計	1,705,348	1,538,305
負債純資産合計	1,815,296	1,638,130

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高		
ソフトウェア使用許諾売上高	215,185	221,924
サポート売上高	25,164	19,866
ソフトウェア受託開発売上高	111,943	70,100
製品売上高	74,257	832
その他の売上高	2,424	2,009
売上高合計	428,974	314,732
売上原価	280,635	193,438
売上総利益	148,338	121,293
販売費及び一般管理費		
役員報酬	25,950	25,368
給料及び手当	104,023	108,728
法定福利費	11,611	13,519
広告宣伝費	9,681	8,541
減価償却費	2,781	—
不動産賃借料	11,359	18,172
支払手数料	56,470	41,288
消耗品費	724	1,693
研究開発費	88,717	66,732
その他	36,524	30,397
販売費及び一般管理費合計	347,842	314,442
営業損失(△)	△199,503	△193,148
営業外収益		
受取利息	342	279
有価証券利息	555	183
受取配当金	—	427
為替差益	274	—
雑収入	0	566
営業外収益合計	1,172	1,457
営業外費用		
為替差損	—	15
支払手数料	98	—
営業外費用合計	98	15
経常損失(△)	△198,429	△191,706
特別利益		
新株予約権戻入益	—	209
特別利益合計	—	209
特別損失		
投資有価証券評価損	5,513	—
減損損失	—	4,749
特別損失合計	5,513	4,749
税引前四半期純損失(△)	△203,942	△196,246
法人税、住民税及び事業税	1,289	1,335
法人税等調整額	△584	△6,758
法人税等合計	705	△5,422
四半期純損失(△)	△204,647	△190,823

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△203,942	△196,246
減価償却費	85,870	79,492
減損損失	—	4,749
投資有価証券評価損益(△は益)	5,513	—
株式報酬費用	5,718	2,735
受取利息及び受取配当金	△342	△706
有価証券利息	△555	△183
売上債権の増減額(△は増加)	36,164	△38,713
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,026	△512
営業債務の増減額(△は減少)	63,384	△10,283
未払金の増減額(△は減少)	8,883	△15,888
未払費用の増減額(△は減少)	20	926
資産除去債務の増減額(△は減少)	86	86
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,464	8,600
前受金の増減額(△は減少)	4,543	7,078
預り金の増減額(△は減少)	△377	△162
その他	△3,187	△9,279
小計	△22,713	△168,306
利息及び配当金の受取額	944	1,047
法人税等の支払額	△4,700	△1,145
法人税等の還付額	—	1,374
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,469	△167,028
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の純増減額(△は増加)	—	△199,911
有形固定資産の取得による支出	△2,837	△2,221
無形固定資産の取得による支出	△50,366	△14,296
長期預金の預入れによる支出	△300,000	—
定期預金の払戻による収入	300,000	300,000
投資有価証券の取得による支出	△49,332	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,535	83,571
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	52,887	10,307
財務活動によるキャッシュ・フロー	52,887	10,307
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△76,117	△73,149
現金及び現金同等物の期首残高	467,868	537,986
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 391,750	※ 464,836

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(有形固定資産の減価償却累計額の表示について)

第1四半期会計期間まで、有形固定資産の各資産科目に対する控除科目として減価償却累計額の科目をもって掲記する方法によっておりましたが、当第2四半期会計期間より有形固定資産の各資産の金額から直接控除し、その控除残高を当該有形固定資産の金額として表示する方法に変更しております。

この結果、有形固定資産の各資産科目は零となったため、四半期貸借対照表には有形固定資産を記載しておりません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	691,750千円	664,836千円
有価証券勘定(譲渡性預金)	—	100,000
預入期間が3か月を超える定期預金	△300,000	△300,000
現金及び現金同等物	391,750	464,836

(金融商品関係)

有価証券が、会社の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、四半期貸借対照表計上額に前事業年度の末日と比較して著しい変動が認められますが、当第2四半期貸借対照表計上額と時価との差額及び前事業年度に係る貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

その他有価証券が、会社の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

## 1. その他有価証券

前事業年度(平成26年3月31日)

	取得原価(千円)	貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
(1) 株式	69,518	79,570	10,051
(2) 債券	—	—	—
(3) その他	200,000	200,000	—
合計	269,518	279,570	10,051

(注) 上表の「取得原価」は減損処理後の帳簿価額であります。

当第2四半期会計期間(平成26年9月30日)

	取得原価(千円)	四半期貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
(1) 株式	69,518	96,253	26,735
(2) 債券	—	—	—
(3) その他	499,911	499,911	—
合計	569,429	596,164	26,735

(注) 上表の「取得原価」は減損処理後の帳簿価額であります。

## 2. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、その他有価証券(非上場株式)について、5,513千円の減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、当該有価証券の実質価額が取得原価に比べ50%以上下落した場合は、有価証券の実質価額が著しく下落したと判断し、回復可能性が十分な証拠によって裏付けられる場合を除き、減損処理を行っております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	組込みソフトウェア事業	サービス事業	
売上高			
外部顧客への売上高	302,204	126,770	428,974
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	302,204	126,770	428,974
セグメント損失(△)	△91,906	△107,596	△199,503

(注)セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

## II 当第2四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	組込みソフトウェア事業	サービス事業	
売上高			
外部顧客への売上高	285,376	29,356	314,732
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	285,376	29,356	314,732
セグメント損失(△)	△105,791	△87,356	△193,148

(注)セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額(△)	△23円14銭	△21円31銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(△)(千円)	△204,647	△190,823
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純損失金額(△)(千円)	△204,647	△190,823
普通株式の期中平均株式数(株)	8,840,379	8,950,798
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	該当事項はありません。	該当事項はありません。

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。
2. 当社は、平成25年6月21日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純損失金額を算定しております。